

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【公開番号】特開2013-181130(P2013-181130A)

【公開日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-050

【出願番号】特願2012-46976(P2012-46976)

【国際特許分類】

C 08 F 226/02 (2006.01)

【F I】

C 08 F 226/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月15日(2014.7.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

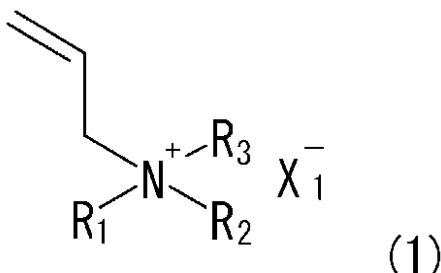
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

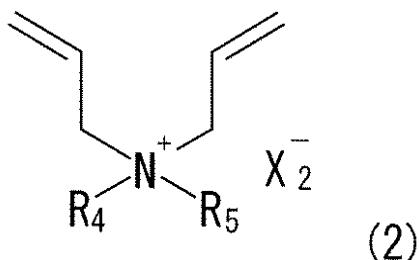
下記一般式(1)で表される化合物、

【化1】



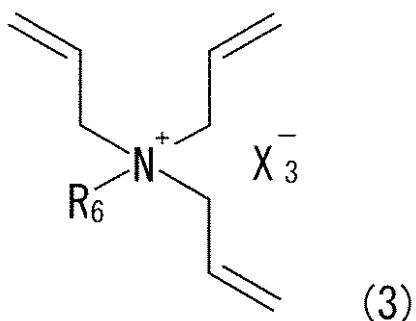
[式中、R₁、及びR₂は同一又は異なって水素原子又は炭素数1～3の直鎖又は分岐のアルキル基又はメトキシエチル基又はメトキシプロピル基又はエトキシエチル基を表し、R₃は水素原子又は炭素数1～3の直鎖又は分岐のアルキル基又はメトキシエチル基又はメトキシプロピル基又はエトキシエチル基又はフェニル基を表す。X₁はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオンを表す。]及び下記一般式(2)で表される化合物、

【化2】



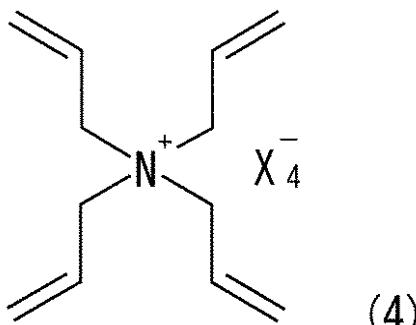
[式中、R₄、及びR₅は同一又は異なって水素原子又は炭素数1～3の直鎖又は分岐のアルキル基又はメトキシエチル基又はメトキシプロピル基又はエトキシエチル基又はフェニル基を表す。X₂はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオ

ンを表す。] 中から選ばれる少なくとも 1 種と、下記一般式(3)で表される化合物、
【化3】



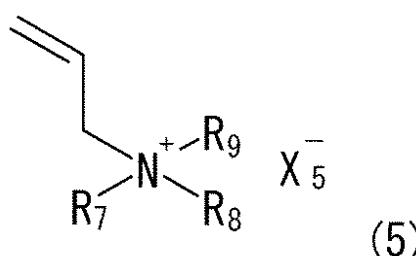
[式中、R₆は水素原子又は炭素数1～3の直鎖又は分岐のアルキル基又はメトキシエチル基又はメトキシプロピル基又はエトキシエチル基又はフェニル基を表す。X₃はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオンを表す。] 及び下記一般式(4)で表される化合物、

【化4】



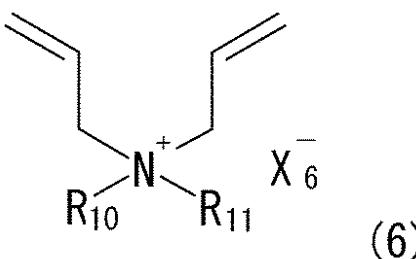
[X₄はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオンを表す。] 中から選ばれる少なくとも 1 種と、下記一般式(5)で表される化合物、

【化5】



[式中、R₇、及びR₈は同一又は異なって水素原子又は炭素数4～18の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベンジル基又はフェニルエチル基を表し、R₉は炭素数4～18の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベンジル基又はフェニルエチル基を表す。X₅はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオンを表す。] 及び下記一般式(6)で表される化合物、

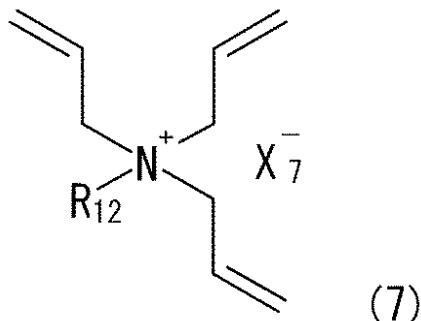
【化6】



[式中、R₁₀は水素原子又は炭素数4～18の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベ

ンジル基又はフェニルエチル基を表し、 R_{11} は炭素数4～18の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベンジル基又はフェニルエチル基を表す。 X_7 はハロゲン化物イオン、水酸化物イオンまたは有機酸、無機酸のアニオンを表す。】及び下記一般式(7)で表される化合物、

【化7】

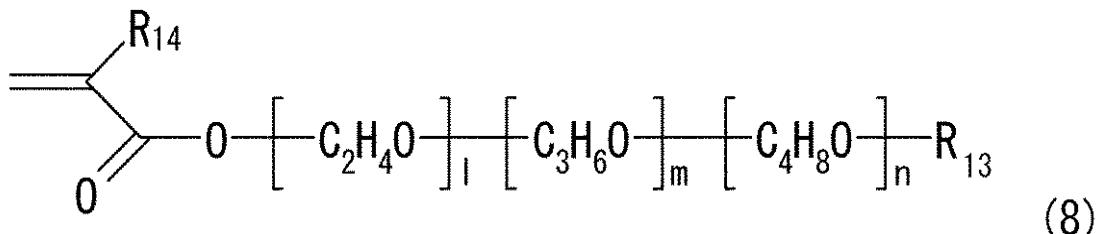


[式中、 R_{12} は炭素数4～18の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベンジル基又はフェニルエチル基を表す。 X_7 はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオンを表す。]の中から選ばれる少なくとも1種とを、1～98/1～98/1～98モル%の比率で多元共重合を行って得られる高分子であって、高分子鎖中にペンドントアリル基を1個以上含有することを特徴とする反応基を有する新規な両親媒性のカチオン性高分子組成物。

【請求項2】

請求項1記載の一般式(1)、(2)、(5)、(6)で表わされる化合物の中から少なくとも一種と、請求項1記載の一般式(3)、(4)、(7)で表わされる化合物の中から少なくとも一種と、下記一般式(8)で表される化合物、

【化8】



[式中、エチレングリコールユニットの繰り返し単位は $l = 0 \sim 30$ 、プロピレングリコールユニットの繰り返し単位は $m = 0 \sim 13$ 、ブチレングリコールユニットの繰り返し単位は $n = 0 \sim 6$ を表す($l + m + n = 0$)。 R_{13} は水素原子又は炭素数1～18の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベンジル基又はフェニルエチル基を表す。 R_{14} は水素原子又はメチル基を表す。]の中から選ばれる少なくとも1種とを、1～98/1～98/1～98モル%の比率で多元共重合を行って得られる高分子であって、高分子鎖中にペンドントアリル基を1個以上含有することを特徴とする反応基を有する新規な両親媒性のカチオン性高分子組成物。